



桑の緑

小坂小学校 学校便り
令和4年2月25日
文責：校長 江上 知男

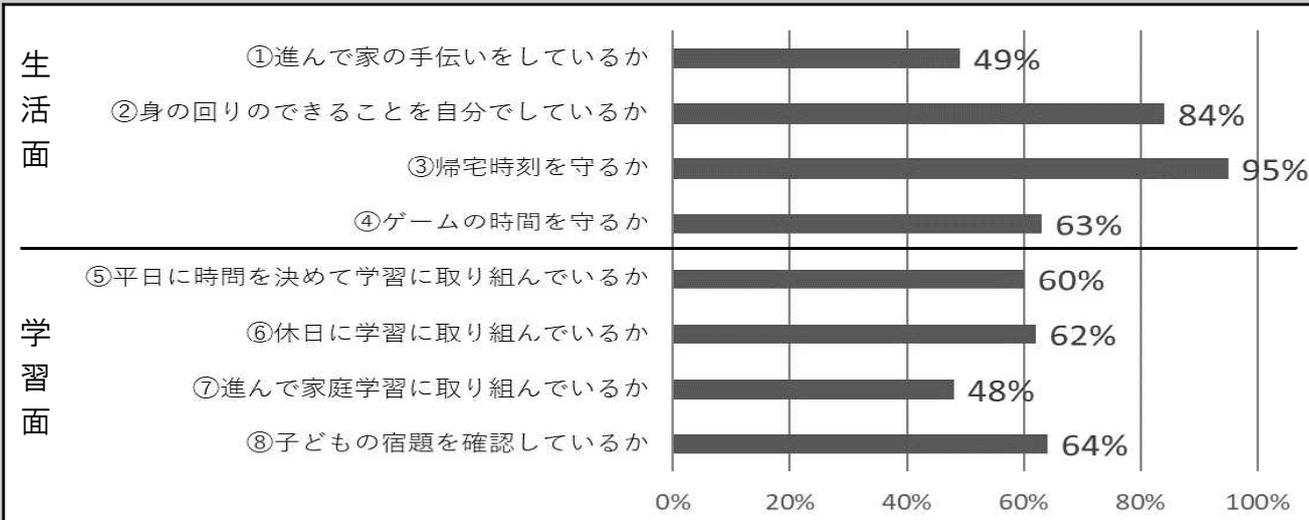
「小坂っ子の家庭生活の実態」について(情報提供)

それにしても、コロナ第6波の出口が見えません。新規感染者の数は、さすがに1000人を超すことはありませんが、それでも500人は優に超える状態が続いています。学校としても、「慣れ」「緩み」と闘いながら、最大限の警戒を続けています。子どもたちの「下校後や休日の家庭生活」においても、「コロナは命に関わること」を念頭に感染防止に取り組んでいただければと思います。

さて、本来であれば2月27日はPTA総会でした。そのときに、年間の様々な総括や提案がされたものと思いますが、残念ながら開催ができません。新年度の総会(4/17(日)の予定)で、改めて総括や提案がされる見通しです。その中で、和田PTA文化部長が中心となって実施された、「家庭生活についてのアンケート」について結果をいただいておりますので紹介します。

PTAアンケート「家庭での生活について」の結果概要

○実施時期：令和3年11月 ○実施方法：メール(フォームス) ○回答：154
○「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の4択の回答中、「あてはまる」「ややあてはまる」の回答を達成できているとして集計した(下の割合)。



<校長の考察>…あくまで私が感じたことです！参考までに…

- ◆お忙しいにもかかわらず、154人もの保護者の皆さまに回答いただき、とにかく感謝感謝です。
- ◆「③帰宅時刻」「②身の回り」について、「約束事を守ることが大切」と捉えている家庭が多いと感じました。また、「⑧宿題」について、6割以上の子どもが見てもらっていて「すごい」と思いました。
- ◆「④ゲーム」について、「ルールを決めること」が大切だと思います(スマホ同様です)。
- ◆「①⑦進んで…」について、これから子どもたちが生きるAIの時代は、「何を記憶しているかではなく、何ができるようになるかが大切」と言われます。つまり、知識は必要ですが、それ以上に「自ら学ぶ力や意欲を伸ばすこと」が重要だということです。子どもたちが「進んで」…すなわち「自分で考えて」手伝いをしたり、学習したりすることは大切だと考えます。いかがですか？



寄贈のぞうきん(100枚)

「手縫いぞうきん」をいただきました！

学校に、手縫いぞうきんをいただきました。何と100枚です。縫ってくださったのは豊秋の渡辺ミサ子さん(92歳)です。心から感謝します。

何より嬉しいのは、地域の方が小坂小学校を大切に思ってくださっていることを感じられたことです。世代を越えて学校は引き継がれていきます。

小坂小学校が、いつまでも「地域とともにある学校」でありますように！